

単元名 につぼんのうた みんなのうた(1)

配当時間 2時間

- 単元の目標 (1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付けることができる。
- (2) 旋律やリズムをもつリズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつことができる。
- (3) 歌詞や旋律の特徴を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとする。

標準的な展開例

06070102_001

【教材名】 つばさをください(歌唱) P.4～P.5 おぼろ月夜(歌唱 共通教材) (P.8

～P.11)

【準備等】 範唱CD

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1～2 「つばさをください」「おぼろ月夜」(共)を歌い、春の気分を味わう。</p> <p>★歌詞の情景を想像し、表情豊かに歌おう</p> <p>○既習曲を歌う。</p> <p>○音楽室の使用法や授業での約束などを確認する。</p> <p>○「つばさをください」の範唱CDを聴き、曲の雰囲気をつかむ。</p> <p>○聴唱法で主旋律を歌い、発音の仕方について確認する。</p> <p>○「おぼろ月夜」の範唱CDを聴き、学習課題をつかむ。</p> <p>○聴唱法で歌う。</p> <p>○どんな情景かを話し合う。</p> <p>○旋律の動きやフレーズを確認し、それらを生かした表現を工夫する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旋律のリズムを比べ、感じの違いを話し合う。 ・旋律の終わりの感じについて話し合う。 ・それぞれ感じたことを生かして、表現の工夫をする。 <p>○情景を想像しながら表情豊かに歌い、題材のまとめをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽活動のできる、明るく活気のある雰囲気づくりを大切にします。 ・オリエンテーションとして実施する。好きな音楽の発表や自己紹介を取り入れてもよい。 ・この1年間の取組が卒業式での合唱につながることを伝える。 ・表紙裏の「ひびきに心をのせて」を読んでもよい。 ・なめらかな感じとはずむ感じの曲想の変化や歌声の響きに注意して聴かせる。 ・この曲は今後、授業の始めに発声練習代わりに歌わせてもよい。特に後半部分は、高音の発声練習として有効である。 【評】歌詞や旋律の特徴を生かして歌う活動を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 ・P.8, 9の写真をしながら聴かせる。 ・ゆったりとした曲の雰囲気や強弱の付け方などを聴き取らせる。 ・七五調で続く言葉のリズムや響きを感じさせる。 ・自然な旋律の流れを意識させる。 ・各フレーズのリズムを比べ、気付いたこと(似たようなリズムで統一されていること)を話し合う活動を入れてもよい。 【共通事項】旋律 フレーズ ・映像やポスター、絵などを使って具体的にイメージづくりをさせるとよい。 【評】曲想と、旋律など音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて話し合う活動を通して「知識」を評価する。 ・旋律のもつ自然な強弱と関連させて理解させる。 ・旋律の終わりが、続く感じが落ち着く感じかを感じ取らせる活動を行い、フレーズを意識しながら歌うと表現しやすい。 ・どのくらいの声量が適当かを考えさせ、実際に歌いながら決めさせていく。 【評】旋律やリズムをもつリズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら曲想にふさわしい表現を工夫する活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。 ・春の穏やかな夕暮れの様子を思い浮かべながら歌わせる。 【評】曲想と、旋律など音楽の構造や歌詞の内容とを関わらせて歌う活動を通して「技能」を評価する。

【 備 考 】